

営農君のいきいきアドバイス

刈払機の正しい使い方 ～草刈り作業を安全に～

気温が高くなると雑草の成長も旺盛となり、草刈り作業が本番を迎えます。草刈り機は便利ですが、適正使用・安全対策を怠ると重大な事故につながる恐れがあります。また、暑い最中の作業は大変な重労働となり熱中症にも注意が必要です。使用する際は次のことを確認し、安全な作業を心がけましょう。

作業に適した作業服・保護具を着用しましょう

- ・作業服は必ず長袖、長ズボンを着用し、すそじまり・袖じまりの良いものにします。ヘルメット、保護メガネ、手袋、腕力バーなどの保護具を着用します。すねあて、エプロンもあると便利です(写真1、2)。
- ・刈払作業では切断した草、小石などがたくさん飛んできます。また、草むらの中には異物が隠れていることがあります。万が一のために保護具で守りましょう。



写真1:保護具例



写真2:着用例

作業の前に点検をしましょう

- ・各部品がきちんと取り付けられているか確認します。特に刈刃に緩みがあると外れて飛んでいく場合があります。刈刃は正しく取り付け、締め付けられているか確認してください。
- ・自然に持った時、刈刃が地面から数センチの高さになるよう、バンドの長さやハンドルの位置を調整します。適正な長さで装着すると、転倒した場合に刈刃が体に触れにくくなります。

あらかじめ作業現場の異物、障害物を取り除いておきましょう

- ・石や空き缶などのゴミや障害物が隠れていると、刈刃に当たった際に高速で飛散し負傷事故につながります。木の切り株や排水の穴、草に隠れている構造物も確認しておきます。

刈の左側前1/3「草を刈る位置」で刈ります

- ・一般的な刈払機は刈刃が反時計回りに回転します。刈刃の先端や右側90°の範囲で障害物に接触すると、勢いよく跳ね返る「キックバック」が起こり大変危険です。刈刃の左側前1/3で刈るようにしましょう(図1)。
- ・柔らかい草や、障害物の多い場所ではキックバックが生じないナイロンコードカッターの使用を検討しましょう(写真3)。ただし、チップソーで作業する時よりもエンジンの回転数を上げる必要があり、刈刃からの飛散物が多くなる場合がありますので注意しましょう。

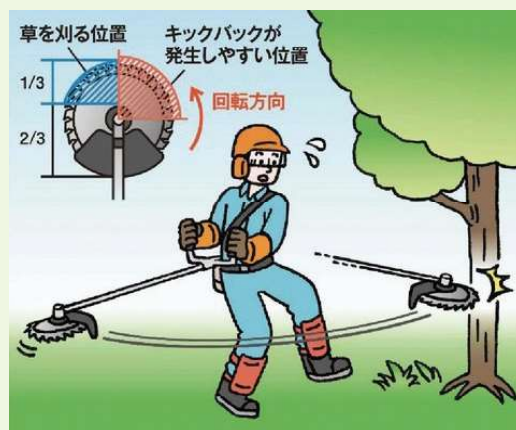


図1:草を刈る位置とキックバック

小まめな水分補給や休憩をとりましょう

- ・夏だけでなく、気温・湿度の高い日はいつでも熱中症が起こりやすくなります。のどの渇きを感じていなくても小まめな水分補給や、暑さを感じていなくても日陰を利用して休憩をとることを心がけましょう。



写真3:ナイロンコードカッター(左)とチップソー(右)